

平成28年5月23日
国土交通省中部地方整備局

— 体験が「備え」に！ —

5月29日に『平成28年度 木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練』を開催
(河川・港湾・道路・砂防が連携した大規模水防演習)

1. 概要：

近年の局地的な集中豪雨の頻発や、大型台風の襲来などの大災害の発生するリスクに備えて、前線が停滞し、広い範囲で降雨が降り続けていることに加え、過去に日本を襲った最大級の台風が接近しているという想定のもと、地元消防団等による堤防の被災に対応するための水防工法の実技をはじめ、洪水・高潮という2つの事象に対し、河川・砂防・港湾・道路が相互に連携するとともに、多数の関係自治体、防災機関、地域の皆様の参加による各参加機関が連携した実働訓練を実施します。

なお、サテライト会場では被災者の救護・救援及び港湾機能の回復等の実働訓練を関係機関と連携して実施します。

2. 日時：

平成28年5月29日（日） 9：00～12：00 ※小雨決行
※サテライト会場は10：30～12：00

3. 場所：

【メイン会場】愛知県稲沢市祖父江町地先（サリオパーク祖父江）

【サテライト会場】名古屋市港区港町地先（名古屋港ガーデンふ頭）

4. 参加機関：

国土交通省中部地方整備局、気象庁名古屋地方气象台、国土地理院中部地方測量部、第四管区海上保安本部、陸上自衛隊第10師団、愛知県、岐阜県、三重県、愛知県警察、愛知県防災航空隊、稲沢市、一宮市、犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町、津島市、弥富市、羽島市、木曾岬町、愛知県尾張水害予防組合、海部地区水防事務組合、木曾川右岸地帯水防事務組合、岐阜大学、名古屋大学、名古屋工業大学、愛知工業大学、中部大学、名城大学、岐阜聖徳学園大学、名古屋港管理組合 等 60機関
予定参加者数：約1,500名

(見学者含む、メイン会場及びサテライト会場の合計数見込み)

5. 演習中止時のお知らせ：

洪水や地震の発生などにより演習を中止する場合があります。
当日は、演習の開催・中止について以下の方法でお知らせします。

<ラジオ放送によるお知らせ>

CBCラジオ（中部日本放送）にて当日5:59頃放送
1053kHz（岐阜地域639kHz）

<ホームページによるお知らせ>

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

6. 添付資料：

チラシ、会場案内図等（別添）

7. 同時配布：

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

問合せ先：

【メイン会場】

国土交通省 中部地方整備局 河川部 水災害予報センター
水災害対策専門官 立松 明憲（たてまつ あきのり）
Tel.052-685-5117

国土交通省 中部地方整備局 木曽川上流河川事務所
副所長 戸谷 三知郎（とや みちお）
Tel.058-251-1321

愛知県建設部河川課
主幹 都筑 浩（つづき ひろし）
Tel.052-954-6552

【サテライト会場】

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
港湾空港防災・危機管理課長 恩田 充（おんだ みつる）
又は課長補佐 伊藤 正人（いとう まさと）
Tel.052-209-6328



名神高速道路 岐阜羽島ICより車で約20分。
一宮西ICより車で約30分。

駐車場あり・シャトルバス運行予定

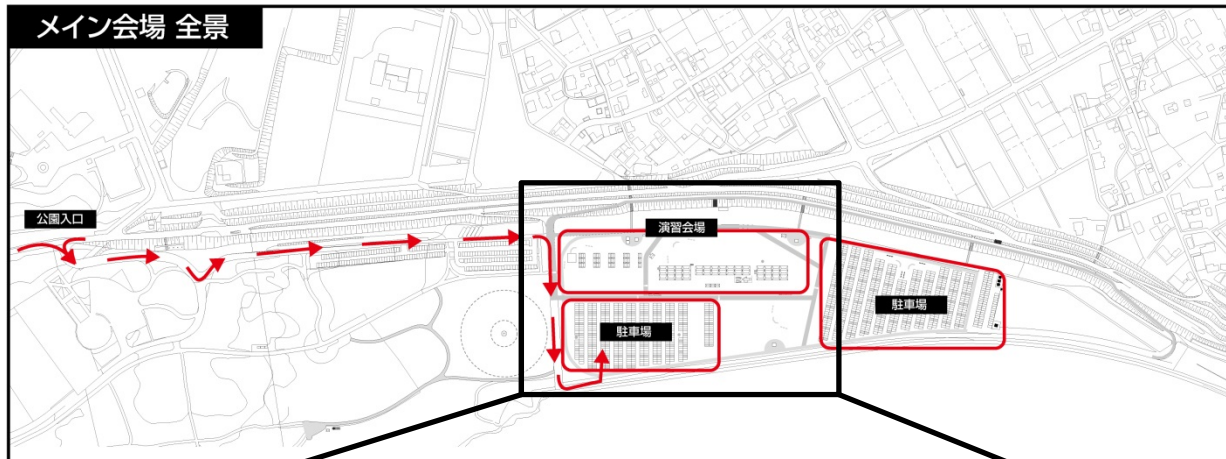
※シャトルバス(森上駅⇄メイン会場)を予定しています。
詳細は木曾川上流河川事務所ホームページをご確認ください。

メイン会場 周辺道路より会場までのルート図

■メイン会場へのルート



メイン会場 会場図





■会場図



体験が「備え」に

平成28年度 木曾三川連合総合水防演習 広域連携防災訓練



竹流し工



月の輪工



被災状況調査(陸上)



防災ヘリ



流出油回収



排水ポンプ車



道路啓開



浸水時ドア開閉体験

サテライト会場

平成28年
日時 **5/29** 日
9:00～12:00 ※小雨決行
※サテライト会場は10:30～12:00

ご見学自由
大駐車場あり
※メイン会場のみ

メイン会場
河川災害

愛知県稲沢市祖父江町地先
サリオパーク祖父江

サテライト会場
高潮災害

名古屋市港区港町地先
名古屋港ガーデンふ頭

シャトルバス(森上駅⇄メイン会場)を予定しています。
(シャトルバスの運行については5月上旬頃、下記ホームページでお知らせします。)

主催

国土交通省中部地方整備局、愛知県、岐阜県、三重県、稲沢市、愛知県尾張水害予防組合

協力

気象庁名古屋地方気象台、国土地理院中部地方測量部、第四管区海上保安本部、陸上自衛隊第10師団、愛知県警察、愛知県防災航空隊、一宮市、犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町、津島市、弥富市、羽島市、木曾岬町、海部地区水防事務組合、木曾川右岸地帯水防事務組合、(一社)愛知県建設業協会、(一社)愛知県道路災害対策協力会、中部地方防災エキスパート、(一社)リバーテクノ研究会、稲沢市四貴上・拾町野自主防災会、祖父江小学校区自主防災会、稲沢市立祖父江小学校、稲沢市立長岡小学校、岐阜大学、名古屋大学、名古屋工業大学、愛知工業大学、中部大学、名城大学、岐阜聖徳学園大学、稲沢厚生病院、稲沢市社会福祉協議会、防災ボランティア稲沢、防災ボランティア祖父江、愛厚はなのきの里、ユニー(株)、(株)サークルKサンクス、名古屋港管理組合、(一社)日本埋立浚渫協会中部支部、(一社)日本海上起重技術協会中部支部、全国浚渫業協会東海支部、中部港湾空港建設協会連合会、(一社)海洋調査協会、(一社)日本潜水協会、(公社)名古屋清港会、名古屋港埠頭(株)、名古屋港連合会ターミナル部会、名古屋港木材産業協同組合、NPO法人中部みなと防災ネット、小型船舶関連事業協議会、(独)水資源機構中部支社(予定含む)

